

# 山口県感染症発生週報

(第5週:平成24年1月30日～2月5日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

◆結核: 第4週追加:2例(いずれも岩国)。第5週:4例(周南、防府、山口、萩)

### 【3類感染症】

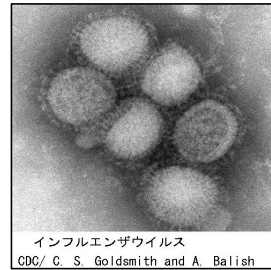
◆腸管出血性大腸菌感染症: 第5週:3例(いずれも宇部 O157:VT2、家族)。

### 【4類感染症】

◆レジオネラ症: 第4週追加:1例(周南)。第5週:1例(周南)。

### 【5類感染症】

◆アメーバ赤痢: 第5週:1例(下関)。



## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者報告数はさらに増加し、今週の定点あたりの報告数は51.64で警報レベルが続いています。すべての地域で流行しており、宇部は注意報レベル、その他の地域は警報レベルです。迅速検査では、A型陽性3368例、B型陽性63例、臨床診断132例でした。また当所では、第4週の検体2例(いずれも宇部)、第5週の検体3例(山口、宇部2例)について検査を行い、PCR法によりA/H3(香港型)が2例(山口、宇部)、B型が3例(いずれも宇部)検出されています(うち4例はウイルス分離でも検出されています)。

【警報レベル=防府(3週目)、山口(3週目)、岩国(3週目)、下関(2週目)、周南(6週目)、長門(3週目)、萩(2週目)、柳井(3週目)】【注意報レベル=宇部(3週目)】※

◆RSウイルス感染症: 長門、萩では他地域と比較して多くみられます。

◆感染性胃腸炎: 例年と同程度ですが、冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので引き続き注意が必要です。萩は警報レベルが続いています。【警報レベル=萩(2週目)】※

◆水痘: 下関、長門は注意報レベルです。【注意報レベル=下関(7週目)、長門(新)】※

◆伝染性紅斑: 周南、柳井はやや多い状況が続いています。【警報レベル=周南(3週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	3週	4週	5週	疾患名	3週	4週	5週
インフルエンザ	2149	3149	3563	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	57	69	53	ヘルパンギーナ	0	1	0
咽頭結膜熱	8	4	10	流行性耳下腺炎	41	19	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	110	133	137	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	432	336	324	流行性角結膜炎	5	5	5
水痘	117	107	112	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	2	0	0	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	39	21	17	マイコプラズマ肺炎	3	3	1
突発性発しん	37	29	28	無菌性髄膜炎	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	897	557	155	558	357	559	243	125	112	3563
RSウイルス感染症	15	2	2	13	0	3	2	8	8	53
咽頭結膜熱	2	2	0	1	3	0	1	0	1	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	16	5	34	5	32	19	1	4	137
感染性胃腸炎	80	40	11	46	4	56	40	11	36	324
水痘	59	8	3	8	5	10	9	10	0	112
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	1	4	9	0	1	2	0	0	17
突発性発しん	8	0	1	7	0	7	4	1	0	28
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	11	0	0	3	0	1	0	4	0	19
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	0	0	1	1	2	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/>